

シンポジウム

子どもの貧困について考える

日本の子どもの 6人に1人が貧困状態？

修学旅行に行けない、塾や習い事に通えない、友だちとキャンプに行けない、食事は1人がほとんど。厚生労働省の調査によると、いま日本には、6人に1人の割合でこういった子どもたちがいます。

子ども時代の貧困は、その後の成長に大きく影響します。学費や塾代など教育費にかけると、余剰がなく、教育の機会が制限されることで、高所得の仕事に就きにくく、親から子への貧困の連鎖も問題視されています。

なかなか目に見えにくいがゆえに、見過ごされがちな子どもの貧困。いま子どもたちはどんな状況にあり、私たちに何ができるのでしょうか。

今回のシンポジウムでは、子どもの貧困とは何かを学び、そのような現状にある子どもたちと日々関わっておられる方々に事例発表していただきます。

日時 11月22日(土) 午後2時～4時30分

会場 ラコルタ 吹田市立市民公益活動センター
吹田市津雲台1-2-1
千里ニュータウンプラザ6階(阪急南千里駅スグ)

参加費 無料 **定員** 先着40名



基調講演／コーディネーター

宮里 慶子 さん(千里金蘭大学 生活科学部 児童学科 准教授)

パネリスト

長谷 清香 さん(青少年活動サポートプラザぷらっとるーむ吹田 青少年相談員)

森本 英之 さん(吹田子ども支援センター 代表)

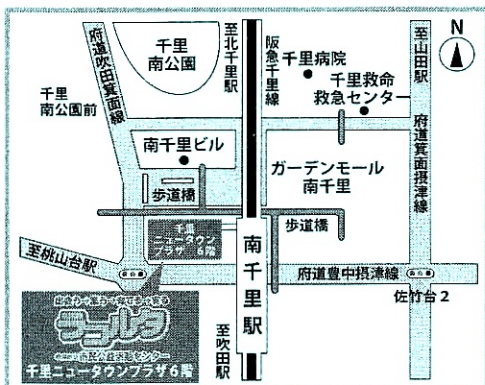
村井 琢哉 さん(NPO 法人 山科醍醐こどものひろば 理事長)

申込／お問い合わせ

裏面の申込書を記入の上、ラコルタまでお越しください。なお、電話・FAX・Eメールでもお申込みいただけます。 ※定員になり次第、受付終了

ラコルタ 吹田市立市民公益活動センター

TEL : 06-6155-3167 FAX : 06-6833-9851
MAIL : info@suita-koueki.org
WEB : http://suita-koueki.org



講師・パネリストプロフィール

宮里 慶子さん

千里金蘭大学生活科学部 児童学科 准教授。
家庭相談員、平安女学院大学短期大学部専任
講師を経て、現職。NPO 法人 児童虐待防止
協会相談員などにも関わる。専門は児童福祉。
社会福祉士。主著に『家族援助論』（共著）。

長谷 清香さん

ぷらっとるーむ吹田 青少年相談員。中学校教
諭の後、大学院で臨床心理学を学ぶ。少年院、
生活保護の相談員、小中学校のスクールカウ
ンセラーなどを経て、2012 年より現職。専門
は地域臨床心理学、キャリアカウンセリング。

森本 英之さん

吹田子ども支援センター代表。様々な事情を抱
えた子どもたちへの学習支援や居場所づくり、
また保護者や教育関係者の支援も行う。元吹田
市第一中学校校長、元吹田市教育センター不登
校児童生徒支援員、元吹田自主夜間中学校代表。

村井 琢哉さん

NPO 法人山科醍醐こどものひろば理事長。子ど
も時代より「山科醍醐親と子の劇場」に参加し、
運営の担い手に。多様な子どもたちとの活動を
支えるボランティアコーディネートや、地域連携
による社会資源の開発に取り組む。社会福祉士。

シンポジウム「子どもの貧困について考える」申込書

ふりがな お名前	
ご所属（あれば）	
住所	
電話番号	
Eメール	
この催しを どこで知りましたか？	
備考欄	

※吹田市立市民公益活動センターでは、サービス提供およびその向上を目的として個人情報を提供いただいております。提供された個人情報は、その目的以外には利用いたしません。

FAX : 06-6833-9851